

## 2. 【組織見直しに係る総合センターのあり方について】

掛合町会場

Q22：総合センターは、現在の人数でも用を成さないのに、8人ということではますます市民と行政が離れてしまう。8人や10人では無いに等しい。災害が起きたときに総合センターで対応ができるのか。

A：現在ご指摘をいただいているところであるが、雲南市と同規模の団体を全国から18団体拾い出し、その平均を参考に雲南市の定員管理計画を定めている。地方交付税は、現在は合併特例が効いているが、10年後は31億円を削減されることから、職員を減らしている。本庁へ職員を集約し、福祉関係の業務を残していく。災害時に瞬時に対応できるしくみを構築していく。警戒態勢、警戒本部、災害対策本部等の段階を踏むことになっている。総合センターへ職員を配置して支障がないように取り組んでいく。(総務部長)

Q23：総合センターの縮小で、住民へのサービス低下は免れないが、必要最小限での検討だと思う。5つの総合センターへ40名配置ということで、単純に割ると8名になる。人口の少ない所でも最低限確保できるのか。出向いて行くにはハンディがあるので考えて欲しい。電話が市外局番通話なので均等にしてほしい。

A：人数について、現在のところ5センターで40人となっている。他の市政懇談会、検討委員会の中で、8人平均が本当に良いのか。センターの位置、庁舎の距離等を見て、ある程度充実すべき総合センターもあるのではないかと指摘も受けている。距離的なハンディについても検討をさせていただく。市外局番については手続き的に複雑であるが調査をしたいと思う。(総務部長)